

●「幼稚園教諭」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分			開講科目	単位数		履修年次	幼一	幼二	
					通信	面接				
教科及び教職に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目【第二欄】	健康	健康	幼児と健康	1		3	○	△	
			人間関係	幼児と人間関係	1		3	○	△	
			環境	幼児と環境	1		3	○	△	
			言葉	幼児と言葉	1		3	○	△	
		表現	領域に関する専門的事項		幼児と音楽表現Ⅰ		1	3	○	○
					幼児と音楽表現Ⅱ		1	3	○	○
					幼児と音楽表現Ⅲ		2	3~4	○	○
					幼児と造形表現Ⅰ		1	3	○	○
					幼児と造形表現Ⅱ		1	3	○	○
					幼児と身体表現Ⅰ		1	3	○	○
					幼児と身体表現Ⅱ		1	3	○	○
					保育内容総論		1	3	○	○
		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容指導法Ⅰ（健康）		1	3	○	○	
				保育内容指導法Ⅱ（健康）	1		3	○	○	
				保育内容指導法Ⅲ（人間関係）		1	3	○	○	
				保育内容指導法Ⅳ（人間関係）	1		3	○	○	
				保育内容指導法Ⅴ（環境）		1	3	○	○	
				保育内容指導法Ⅵ（環境）	1		3	○	○	
				保育内容指導法Ⅶ（言葉）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅷ（言葉）		1	3	○	○		
			保育内容指導法Ⅸ（音楽表現）		1	3	○	○		
			保育内容指導法Ⅹ（音楽表現）		1	3	○	○		
			保育内容指導法Ⅺ（造形表現）		1	3	○	○		
			保育内容指導法Ⅻ（造形表現）		1	3	○	○		
	教育の基礎的理解に関する科目【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2		3	○	○	
				保育原理Ⅰ	2		3	○	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2		3	○	○		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	1		3	○	○		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	1	1	4	○	○		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	○		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	保育・教育課程論	2		3	○	○			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目【第四欄】	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	1	1	3	○	○			
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解、保育相談	2		4	○	○			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3	○	○			
教育実践に関する科目【第五欄】	教育実習	幼児教育実習Ⅰ		1	3	○	○			
		幼児教育実習Ⅱ		2	4	○	○			
		幼児教育実習Ⅲ		2	4	○	○			
	教職実践演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	1	1	4	○	○			
大学が独自に設定する科目【第六欄】										
計					26	25		51	48	

幼稚園教諭一種免許状、幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、幼二欄に△印を付された科目より1科目が選択必修です。

※保育内容指導法については（ ）内の表記が同じものを両方で1科目（2単位）として履修してください。1単位での履修はできません。

※幼児と音楽表現、幼児と造形表現、幼児と身体表現はⅠ・Ⅱを両方で1科目（2単位）として履修してください。1単位での履修はできません。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（48頁）

◎幼児と音楽表現Ⅲの内容については64頁～67頁をご覧ください。

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「小学校教諭」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	小一	小二		
				通信	面接					
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目 【第二欄】	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	初等教科研究・国語（書写を含む）	2		3	○	△	
			社会	初等教科研究・社会		1	3	○	△	
			算数	初等教科研究・算数	2		3	○	△	
			理科	初等教科研究・理科	1		3	○	△	
			生活	初等教科研究・生活		2	3	○	△	
			音楽	初等教科研究・音楽実技Ⅰ		2	3~4	○	○	
				初等教科研究・音楽実技Ⅱ		2	3~4	○	△	
				初等教科研究・音楽理論Ⅰ		1	3	○	○	
				初等教科研究・音楽理論Ⅱ		1	3	○	○	
			図画工作	初等教科研究・図画工作Ⅰ		1	3	○	○	
				初等教科研究・図画工作Ⅱ		1	3	○	○	
			家庭	初等教科研究・家庭		1	3	○	△	
			体育	初等教科研究・体育Ⅰ		1	3	○	○	
				初等教科研究・体育Ⅱ		1	3	○	○	
			外国語	初等教科研究・外国語	1		3	○	○	
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	国語科教育法Ⅰ	1		3	○	△
					国語科教育法Ⅱ		1	3	○	△
				社会	社会科教育法	1	1	3	○	△
					算数科教育法Ⅰ	1		3	○	△
	算数科教育法Ⅱ			1	3	○	△			
	理科	理科教育法		1	1	4	○	△		
	生活	生活科教育法		1	1	4	○	△		
	音楽	音楽科教育法		1	1	3	○	○		
	図画工作	図画工作科教育法		1	1	3	○	○		
	家庭	家庭科教育法		1	1	4	○	△		
	体育	体育科教育法	1	1	3	○	○			
	外国語	外国語教育法	1	1	3	○	○			
	教育の基礎的理解に関する科目 【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2		3	○	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	2		3	○	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	1		3	○	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		3	○	○	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	2		4	○	○	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		3	○	○	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【第四欄】	道徳の理論及び指導法		道徳教育の指導法	1	1	3	○	○	
		総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	○	
		特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	○	○	
教育の方法及び技術		教育方法学	1	1	3	○	○			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
生徒指導の理論及び方法		生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	○			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		3	○	○			
教育実践に関する科目 【第五欄】	教育実習	初等教育実習Ⅰ		1	3	○	○			
		初等教育実習Ⅱ		4	4	○	○			
		教職実践演習	教職実践演習（小）	1	1	4	○	○		
大学が独自に設定する科目 【第六欄】		介護体験実習		1	4	○	○			
計				36	34		70	53		

小学校教諭一種免許状、小学校教諭二種免許状を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※小学校教諭二種免許状を取得するためには、小二欄に△印を付された科目より3教科（6単位）が選択必修です。

※国語科教育法、算数科教育法はⅠ・Ⅱを両方で1科目（2単位）として履修してください。1単位での履修はできません。

※初等教科研究・音楽理論、図画工作、体育はⅠ・Ⅱを両方で1科目（2単位）として履修してください。1単位での履修はできません。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（48頁）

◎初等教科研究・音楽実技の内容については64頁～67頁をご覧ください。

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「養護教諭」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	養一	
				通信	面接			
養護及び教職に関する科目	養護に関する科目 【第二欄】	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	衛生学	2		4	○	
			公衆衛生学	2		4	○	
		学校保健	学校保健Ⅰ	2		3	○	
			学校保健Ⅱ	2		3	○	
		養護概説	養護概説	2		3	○	
		健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健康科学	2		3	○	
			健康相談活動	2		3	○	
		栄養学 (食品学を含む。)	栄養学	2		4	○	
			食品学	2		4	○	
		解剖学・生理学	解剖生理学	2		4	○	
		「微生物学、免疫学、薬理概論」	免疫学	2		4	○	
		精神保健	精神保健	2		3	○	
			基礎看護	基礎看護	2		3	○
				小児看護	2		3	○
	成人看護		成人看護	2		3	○	
			母性保健	2		3	○	
	学校救急看護			2		3	○	
	精神看護		2		4	○		
	看護実習		1		4	○		
	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	看護学	2		3	○		
		看護学	2		3	○		
		看護学	2		3	○		
		看護学	2		3	○		
		看護学	2		3	○		
		看護学	2		3	○		
	教育の基礎的理解に関する科目 【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		3	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学Ⅰ	2		3	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程	教育心理学	2		3	☆	
			発達心理学	2		4	☆	
		特別の支援を必要とする幼児、児童 及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		3	○		
	道徳、総合的な学習の時間等の内容 及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【第四欄】	道徳、総合的な学習の時間 及び特別活動に関する内容	道徳教育の指導法	1	1	3	○	
総合的な学習の時間の指導法			1	1	3	○		
特別活動の指導法			1	1	3	○		
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法・ 情報通信技術活用論	1	1	3	○		
		生徒指導の理論及び方法	2		4	○		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な 知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		3	○		
教育実践に 関する科目 【第五欄】	養護実習	養護実習		5	4	○		
	教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	1	1	4	○		
大学が独自に設定する科目【第六欄】								
計				57	13		68	

養護教諭一種免許状を取得するためには、養一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。(48頁)

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「福祉」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修 年次	高 一	
				通信	面接			
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目 【第二欄】	社会福祉学 (職業指導を含む。)	社会福祉学Ⅰ(含職業指導)	2		3	○	
			社会福祉学Ⅱ	2		3	○	
			諸外国の社会福祉Ⅰ	2		3	○	
			諸外国の社会福祉Ⅱ	2		3	○	
		高齢者福祉・児童福祉・ 障害者福祉	児童福祉学Ⅰ	2		3	○	
			障害福祉論Ⅰ	2		3	○	
			高齢者福祉論Ⅰ	2		4	○	
		社会福祉援助技術	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		3	○	
			社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		3	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職	2		3	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2		3	○	
		介護理論・介護技術	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2		3	○	
			介護概論Ⅰ	1	1	3	○	
		社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び 社会福祉施設等における 介護実習を含む。)	介護技術		1	3	○	
			社会福祉援助技術現場実習		6	4	○	
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1	3	○	
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	1		3	○	
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1	3	○	
		人体構造に関する 理解・日常生活行動に 関する理解	介護実習Ⅰ		2	3	○	
			心理学	2		3	○	
	医学一般Ⅰ		1	1	3	○		
	こころとからだのしくみⅠ		2		3	○		
	加齢に関する理解・障害に 関する理解	こころとからだのしくみⅡ	2		3	○		
		医学一般Ⅱ	2		3	○		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	福祉科教育法Ⅰ	2		3	○		
		福祉科教育法Ⅱ	1	1	3	○		
	教育の基礎的理解 に関する科目 【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		3	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への 対応を含む。)	教育社会学Ⅰ	2		3	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程	教育心理学	2		3	☆	
			発達心理学	2		4	☆	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		3	○		
	道徳、総合的な学習 の時間等の指導法 及び生徒指導、教育 相談等に関する科目 【第四欄】	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	1	1	3	○	
		教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導(進路指導を含む。)	2		4	○	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談	2		3	○	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法							
	教育実践に 関する科目 【第五欄】	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○	
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	1	1	4	○	
	大学が独自に設定する科目【第六欄】							
	計				60	21		79

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。(48頁)

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「英語」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	中一	中二	高一	中高+	
				通信	面接						
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目 【第二欄】	英語学	英語の語彙と用法Ⅰ	1		3	○	△	○	○	
			英語の語彙と用法Ⅱ		1	3	○	△	○	○	
			英語の語彙と用法Ⅲ	1		3	○	△	○	○	
			英語の語彙と用法Ⅳ		1	3	○	△	○	○	
			英語音声学Ⅰ		1	4	○	△	○	○	
			英語音声学Ⅱ		1	4	○	△	○	○	
			英語学入門Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			英語学入門Ⅱ	2		3	○	○	○	○	
			基礎英文法Ⅰ	2		3	△	△	△	△	
			基礎英文法Ⅱ	2		3	△	△	△	△	
		英語文学	イギリス文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			イギリス文学史Ⅱ		2	3	○	○	○	○	
			アメリカ文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			アメリカ文学史Ⅱ		2	3	○	○	○	○	
			英米の詩Ⅰ	1		3	△	△	△	△	
			英米の詩Ⅱ		1	4	△	△	△	△	
			英米の小説Ⅰ	1		3	△	△	△	△	
			英米の小説Ⅱ		1	4	△	△	△	△	
			英米の批評・随筆Ⅰ	1		3	△	△	△	△	
			英米の批評・随筆Ⅱ	1		3	△	△	△	△	
		英語コミュニケーション	英語のスピーキング・リスニングⅠ		2	3	○	○	○	○	
			英語のスピーキング・リスニングⅡ		2	3	△	△	△	△	
			異文化理解	現代イギリス事情Ⅰ		1	3	○	○	○	○
				現代イギリス事情Ⅱ	1		4	△	△	△	△
		現代アメリカ事情Ⅰ			1	3	○	○	○	○	
		現代アメリカ事情Ⅱ		1		4	△	△	△	△	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ		2	3	○	○	○	○	
			英語科教育法Ⅱ		2	3	○	○	○	○	
			英語科教育法Ⅲ	2		3	○	○	△	○	
			英語科教育法Ⅳ	1	1	3	○	○	△	○	
		教育の基礎的理解に関する科目 【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○	○	○	○
			教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		3	○	○	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	2		3 4	☆ ☆	☆ ☆	☆ ☆	☆ ☆	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	2		4	○	○	○	○	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		3	○	○	○	○	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【第四欄】	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	1	1	3	○	○	▲	○	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	○	○	○	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	○	
		教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	○	○	○	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法									
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導（進路指導を含む。)	2		4	○	○	○	○	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談	2		3	○	○	○	○	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)										
	教育実践に関する科目 【第五欄】	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	○	△	○	
			高等学校教育実習		3	4	△	△	○	○	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○	○	○	
	大学が独自に設定する科目 【第六欄】		介護体験実習		1	4	○	○	△	○	
計				48	33		70	56	61	70	

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方
を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方
を取得するためには、中一欄、高一欄および、中一+高一欄に△印を付された科目よりいずれか8単位が選択必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲印は「大学が独自に設定する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習（5単位）のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（48頁）

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

● 「国語」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	中一	中二	高一	中高+	
				通信	面接						
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目【第二欄】	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語概説Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			日本語概説Ⅱ	2		3	○	○	○	○	
			日本語表現法Ⅰ		1	3	○	○	○	○	
			日本語表現法Ⅱ		1	3	○	○	○	○	
			日本語の語法Ⅰ	2		3	○	△	○	○	
			日本語の歴史Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			日本語の歴史Ⅱ	2		4	○	△	○	○	
			日本語の音声		2	3	○	○	○	○	
		国文学 (国文学史を含む。)	日本古典文学の基礎Ⅰ	1		3	○	△	○	○	
			日本古典文学の基礎Ⅱ	1		4	○	△	○	○	
			日本文学概説Ⅱ		2	3	○	○	○	○	
			日本古典文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			日本古典文学史Ⅱ	2		4	○	○	○	○	
			日本近現代文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			日本近現代文学史Ⅱ	2		4	○	○	○	○	
			漢文学	漢文学の基礎Ⅰ	1		3	○	○	○	○
		漢文学の基礎Ⅱ		1		3	○	○	○	○	
		書道 (書写を中心とする。)	書写・書道Ⅰ	1		3	○	○	△	○	
			書写・書道Ⅱ		1	3	○	○	△	○	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
	国語科教育法Ⅱ		1	1	3	○	○	○	○		
	国語科教育法Ⅲ		2		3	○	○	△	○		
	国語科教育法Ⅳ		1	1	3	○	○	△	○		
	教育の基礎的理解に関する科目【第三欄】	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○	○	○	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		3	○	○	○	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		3	☆	☆	☆	☆	
			発達心理学	2		4	☆	☆	☆	☆	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	○	○	○	
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		3	○	○	○	○	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目【第四欄】	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	1	1	3	○	○	▲	○	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	○	○	○	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	○	
		教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	○	○	○	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法									
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導（進路指導を含む。)	2		4	○	○	○	○	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3	○	○	○	○	
	教育実践に関する科目【第五欄】	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	○	△	○	
			高等学校教育実習		3	4	△	△	○		
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○	○	○	
	大学が独自に設定する科目【第六欄】		介護体験実習		1	4	○	○	△	○	
	計				52	23		70	64	59	70

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲印は「大学が独自に設定する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習（5単位）のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（48頁）

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「社会」（中一種）および「地理歴史」（高一種）免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	中社会	中社会	高地歴	中社会+高地歴	
	(社会)	(地歴)		通信	面接						
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目【第二欄】	日本史・外国史	日本史	日本史概説Ⅰ	2		3	○	○	○	○
				日本史概説Ⅱ	2		3	○	○	○	○
				日本考古学Ⅰ		2	3	△	△	○	○
				日本考古学Ⅱ	2		3	△	△	△	△
				日本古代史Ⅰ		2	3	△	△	○	○
				日本古代史Ⅱ	2		4	△	△	△	△
				日本中世史Ⅰ	2		3	△	△	○	○
				日本中世史Ⅱ	2		4	△	△	△	△
				日本近世史Ⅰ	2		3	△	△	○	○
				日本近世史Ⅱ	2		4	△	△	△	△
				日本近現代史Ⅰ	2		3	△	△	○	○
				日本近現代史Ⅱ	2		4	△	△	△	△
				日本美術史Ⅰ	2		4	△	△	○	○
		日本美術史Ⅱ	2		4	△	△	△	△		
		地理学(地誌を含む。)	外国史	西洋史概説	2		3	○	○	○	○
				東洋史概説	2		3	○	○	○	○
				人文地理学・自然地理学	2		3	○	○	○	○
			地誌	地理学Ⅰ	2		3	○	○	○	○
				地理学Ⅱ	2		3	○	○	○	○
				地誌学	2		3	○	○	○	○
	「法律学、政治学」					4	○	○	△	○	
	「社会学、経済学」			3	○	○	△	○			
	「哲学、倫理学、宗教学」			3	○	○	△	○			
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			社会科・地歴科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	○	○	
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	○	○	△	○	
			社会科・公民科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	△	○	
	教育の基礎的理解に関する科目【第三欄】		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○	○	○	○
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		3	○	○	○	○
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	○
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		3	☆	☆	☆	☆
				発達心理学	2		4	☆	☆	☆	☆
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	○	○	○
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		3	○	○	○	○	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目【第四欄】		道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	1	1	3	○	○	▲	○
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	○	○	○
			特別活動の指導法	特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	○
			教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	○	○	○
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	○	○	○
			生徒指導の理論及び方法	生徒指導(進路指導を含む。)	2		4	○	○	○	○
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導(進路指導を含む。)	2		4	○	○	○	○
	教育実践に関する科目【第五欄】		教育実践	中学校教育実習		5	4	○	○	△	○
			教育実践	高等学校教育実習		3	4	△	△	○	○
			教職実践演習	教職実践演習(中・高)	1	1	4	○	○	○	○
		大学が独自に設定する科目【第六欄】		介護体験実習		1	4	○	○	△	○
計				73	20		70	64	61	80	

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※中学校教諭一種免許状を取得するためには、中一社会欄に△印を付された科目より6単位以上が選択必修です。

※高等学校教諭一種免許状、または中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、高一地歴欄、中一社会+高一地歴欄、各欄に△印を付された科目よりいずれか4単位以上が選択必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲印は「大学が独自に設定する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習(5単位)のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。(48頁)

◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●「書道」免許状取得課程（課程正科生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	高一	
				通信	面接			
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目 【第二欄】	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）	書写・書道Ⅰ	1		3	○
			書写・書道Ⅱ		1	3	○	
			楷書の技法（A）Ⅰ	1		3	○	
			楷書の技法（A）Ⅱ		1	3	○	
			行書の技法Ⅰ	1		3	○	
			行書の技法Ⅱ		1	3	○	
			かなの技法Ⅰ	1		3	○	
			かなの技法Ⅱ	1		3	○	
			楷書の技法（B）Ⅰ	1		3	○	
			楷書の技法（B）Ⅱ		1	3	○	
			草書の技法Ⅰ	1		4	○	
			草書の技法Ⅱ		1	4	○	
			隷書の技法	1		3	○	
			篆書の技法	1		3	○	
			書道史	中国書道史概説	2		3	○
			日本書道史概説	2		3	○	
		「書論、鑑賞」	書学入門	2		3	○	
			書論・鑑賞	2		4	○	
		「国文学、漢文学」	日本文学概説Ⅰ	2		3	○	
			日本古典文学史Ⅰ	2		3	○	
			日本古典文学史Ⅱ	2		4	○	
			日本近現代文学史Ⅰ	2		3	○	
			日本近現代文学史Ⅱ	2		4	○	
			漢文学の基礎Ⅰ	1		3	○	
			漢文学の基礎Ⅱ	1		3	○	
			漢文講読Ⅰ	2		4	○	
			漢文講読Ⅱ	1	1	4	○	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		書道科教育法Ⅰ	2		3	○	
			書道科教育法Ⅱ	1	1	3	○	
	教育の基礎的理解に関する科目 【第三欄】		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2		3	○
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2		3	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学Ⅰ	2		3	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		3	☆	
			発達心理学	2		4	☆	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2		4	○	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		3	○	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【第四欄】	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1	3	○	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	1	1	3	○	
		教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	1	1	3	○	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導（進路指導を含む。）	2		4	○	
		生徒指導の理論及び方法						
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談	2		3	○	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
	教育実践に関する科目 【第五欄】	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○	
		教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	
	大学が独自に設定する科目【第六欄】							
	計				57	14		69

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。
 ※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。
 ※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（48頁）
 ◎実習科目の内容については68頁～77頁をご覧ください。

●教員免許状取得課程共通

教員免許状取得のためには、40頁～47頁に記載されている科目の修得のほかに「教育職員免許法第5条別表1備考4号」ならびに「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目（下表）も修得する必要があります。出身大学等で未修得の場合は各々の科目を別途履修指定します。指定のあった科目は必ず履修してください。

▶教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

法定科目	開講科目	単位数		履修年次	教免
		通信	面接		
日本国憲法	日本国憲法	2		3	○
体育	基礎専門体育Ⅰ（幼・小免）	1		3	○
	基礎専門体育Ⅱ（幼・小免）		1	3	○
	スポーツと健康Ⅰ（中・高・養免）	1		3	○
	スポーツと健康Ⅱ（中・高・養免）		1	3	○
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ		1	3	○
	英語Ⅱ		1	3	○
情報機器の操作	情報活用演習（基礎）		1	3	○
	情報活用演習（教職）		1	3	○

(1)基礎専門体育、スポーツと健康、英語、情報活用演習は2科目セットでの受講となります（1単位での受講はできません）。

(2)小学校または中学校の教員免許状の取得を希望する方は介護体験実習が必要です。内容については69頁をご覧ください。

●「学芸員」資格取得課程（課程正科生）

	法定科目	単位数	開講科目	単位数		履修年次	学芸員
				通信	面接		
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2		3	○
	博物館概論	2	博物館概論	2		3	○
	博物館経営論	2	博物館経営論	2		3	○
	博物館資料論	2	博物館資料論	2		3	○
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2		3	○
	博物館展示論	2	博物館展示論	1	1	3	○
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2		4	○
	博物館教育論	2	博物館教育論	2		3	○
	博物館実習	3	博物館実習		4	4	○
計				15	5		20

上記のすべての科目を履修してください（他大学等で一部修得済みでも、一切認定しません）。

◎「博物館実習」の内容については76頁をご覧ください。